

# AKITA Biz Forest

あきたBizフォレスト TOPインタビュー

## TOP INTERVIEW

株式会社ドリームリンク  
代表取締役 村上 雅彦氏



1962年10月、秋田県秋田市に生まれる。両親が銀行員という家庭で育ち、転勤に伴う転校を繰り返した。素行は決して良くなかった。高校停学期間中の宿題として「読書感想文」が与えられその時読んだ矢沢永吉氏著の「成り上がり」に感銘を受け、学歴に縛られない生き方を追求する。目指していた「医師」ではなく「美容師」を志し秋田の専門学校を卒業、東京で美容師となる。その後、村上の人生に大きく影響を与える人物との出会いが縁となり、銀行員であった父とフランチャイズの居酒屋経営を始める。工夫、アイデアを凝らし、業績を上げ、その後は新事業、新ブランドを次々立ち上げた。何ものにも縛られない自由な生き方と豊かな発想で、居酒屋、カフェ、銀座の高級店など、20以上の業態を北海道から九州へ展開、店舗数は100店を超える。社員の幸せと地域への貢献を考える「企業国家論」という独自の経営哲学を唱え躍進中。

## 「企業国家論」・・・会社のため、社員のため、地域社会のため

**工藤** コロナ禍における飲食業の経営はいろいろと難しいと思われませんが、村上社長はこのコロナ禍をどのようにとらえていますか？

**村上** 今は「コロナという爆弾」が世界中に降り注いでいる「世界同時空襲」だと思います。空襲という非常事態時は、まず「自分が被爆しないように行動する」しかし自分だけが被爆しなければ良いものではありません。「周りの人達も被爆しないように行動する」、そばに「被爆した人がいたら手を差し伸べる」という考えのもとに世界中の人々が行動をしていかなければならないと考えます。そして後世の為に「空襲時にどんな気づきがあったのか」「どうやってこの危機を乗り越えたのか」等をしっかりノウハウとして残していかなければと思います。

**工藤** そうですね。コロナ禍によって様々な気づきが得られた面もありますね。さて、現在私たちは秋田の起業家を増やすために活動しています。村上社長からみて秋田でビジネスをしていく上でのメリットなどがあればお聞かせください。

**村上** あえて秋田を外からみると、宝の山のようにみえます。豊富な資源が秋田には残されています。

それは秋田の先人たちが残してくれていたからです。我々の業種で考えると、かつて秋田のお金は県外の全国チェーンの会社に流れ、それが秋田に戻ってくることは少なかったと思います。しかし、秋田の豊富な資源を使うことで、逆のお金の流れが生まれ、秋田にお金を集めることができます。

**工藤** フランチャイズ経営をしていた村上社長だからこそ、チェーン店のお金の流れや地域へのお金の還元の少なさといった観点が生まれるのですね。そして逆のお金の流れを作るという発想は意外に斬新なのかもしれませんですね。ちなみに村上社長からみる可能性のある資源としてはどのようなものがあると思われますか？

**村上** 自然・お祭り・温泉・歴史・文化・郷土料理・民族。県民からみたら当たり前の事に無限の可能性があると言っていいと思います。例えば「食文化」。全国でお店を経営してみているのですが、秋田の食文化は「日本一」と言っても良いと思います。そして食は色々なものとの結びつきや親和性が高いはず。また、人口流出を嘆く声を聞きますが、見方を変えると「秋田へ戻って来い」と呼びかけることが出来る人々がたくさんいると言えますし「秋田県は全国に県人の

ネットワークを持っている」とも言えます。この「Aターン候補」「秋田県人ネットワーク」は秋田の大切な宝物です。ただし活用しなければ「宝の持ち腐れ」になります。**工藤** 一度県外に出てみるとみえる良さだったり、違いだったりもありますね。そのような視点も加わると、ますます良い資源の使い方や広告、宣伝もできますね。なんだか村上社長とお話しさせていただく中で、とても秋田愛を感じるのですが、村上社長の秋田への思いをお聞かせ下さい。

**村上** 育ててくれた街ですし、恩返ししたいという想いは強いですね。例えば、首長を囲んだオンライン飲み会「我が町一番」という企画を始めました。これはオンラインで首長自ら、全国の方に「我が町自慢」してもらいます。参加者にはその町の特産品や郷土料理を購入頂き、それに関する説明などを首長が行い、祭りや文化など我が町の自慢を全国へアピールして頂きます。今後は秋田の全市町村の首長と開催予定ですし、開催時期もその土地の特性を生かせる時期にやろうと考えています。ゆくゆくは経済界やスポーツ選手、芸能人、文化人の方を囲んで、秋田をPRしていきたいです。

あきたBizフォレストTOPインタビューは、秋田の起業家と企業環境を応援することを宣言いただいた100名以上の経営者の皆様を中心に、起業家に役立つ話題と起業家へのメッセージを対談形式でまとめたものです。

**工藤** 是非あきた舞妓も起用下さい。笑。しかし地域社会のためにもなるとてもユニークな企画ですね。これも村上社長の経営哲学「企業国家論」によるものですね。

**村上** 「会社のため」「社員のため」「地域社会のため」といった「企業国家論」の3つの理念を大切に経営をしております。この考えのもと、色々な人とコラボし、ネットワークを広げていけたら良いと思っています。「我が町一番」もその一つです。

**工藤** ありがとうございます。最後に秋田の起業家の方々へのメッセージをお願いします。

**村上** 自分の言葉になりますが「人生は創

れる」という言葉を送ろうと思います。これは思い描いた人生を送るために、人生を生きるという考え方です。自分が得るのではなく、人へ与えることができる人が成功しますし、そこには、多くの支援者や仲間が集まってくると思います。

## 村上社長のお気に入りをお教えいただきました。

人生の中で物語を大切にしてくられている村上社長ですが、その物語は矢沢永吉さんの「成り上がり」という本を読んだところから始まったそうです。高校時代に進路に悩む中で、学歴という既成概念にとらわれな

い、自由な生き方に気づき、ビジネスを展開されています。何度も読み返し、ポロポロになった「成り上がり」を村上社長のお店に来店された矢沢永吉さんにお見せしたところ、サインをしないことで有名な矢沢永吉さんからサインをいただけたそうです。自由な発想と逆転の発想でビジネスを展開してきた村上社長は今「出版社」を創設しております。「ここから人々へ夢をあたえる物語をどんどん発信し、その物語に基づいたディズニーランドに負けないテーマパークを秋田に作りたい」という新たな「夢」も語ってくれました。

今日は貴重なお時間とお話しを本当に有難う御財増した。

インタビュー

合同会社ジェグルス(共同事業体ジェイワン) アントレプレナーコンシェルジュ 工藤 実

ライター 秋田大学2年 小林 恵大

企画 共同事業体ジェイワン(秋田市ビジネススタートアップ支援事業)



※撮影のために一時的にマスクを外しています。